



新年のご挨拶

岐阜ダルク後援会長 由井 滋

白銀の北海道から、ダルクの仲間、ダルクを支えて下さる方々に新年のお喜びを申し上げます。旧年中は岐阜ダルクに御尽力下さり、心から感謝致します。一年一年の地道な努力が実を結んでゆくものと確信しております。私は参加できませんでしたが、岐阜ダルク2周年フォーラムの手伝いに協力を願った友人から電話があり、「各地からのダルクの仲間が準備されて自分の手伝うことはなかった。でもフォーラムに参加させていただき、教会の集まりより心を打つものがあり、赤裸々な弱い自分をさらけ出して薬物の回復に努めている姿を見、聞いて感動した」と言われ教会で働く自分としては複雑な感じを受けた。しかし、私自身参加させていただいた時、自分の恥部をさらけ出して、仲間と共に励ましあって歩もうとする姿に学ばねば…と思いました。すでに聖書を通して、イエス・キリストを宣べ、伝えるために生命をかけて働かれたパウロという人は「主(イエス・キリスト)の弟子たちを脅迫し、殺そうと意気込んで、大司祭のところへ行き…この道に従う者を見つけ出したら、男女を問わず縛り上げエルサレムに連行するためであった。」と告白しています。そして、イエス・キリストはこのように自分のために十字架にかけられて死んでくれたと確信したのです。イエスをキリスト(救い主)と信じる人々の集まりである教会も、ダルクのようになければと思います。互いに弱さ、なやみをさらけ出し、そこに一つの連帯が生まれ、今日一日薬物を飲まず過ごそうという力がでてくるのだらうと思います。「岐阜ダルク2周年フォーラム」には沢山の人が参加して下さったとのこと、準備は精神的に大変だったが、皆様の御協力によって成功裏に終わることができた報告を受け、新しい力をいただいたとのことでした。本当にありがとうございました。

こちら北海道では、夕張市が破綻するという考えられない出来事が起こり、日本自体も実は同じ状況にあると言われ動揺しています。再建にどのような苦労があるにしろ、少なくとも社会の弱者を切り捨てるような政策だけは避けなければなりません。このような社会にあっても小さく、きらりと光るゆきがあります。その一つがダルクの活動ではないかと思えます。世に隠れて薬物依存に苦しんでいる人、家庭がダルクを知り、一人でも多く、希望を持って生きることができるように祈ります。

この年がお互いにとって実り豊かな年でありますように。

# リレーメッセージ



名古屋市男女平等参画推進センター  
つながれっと NAGOYA 相談室  
景山 ゆみ子

新年あけましておめでとうございます。昨年の岐阜ダルク2周年フォーラムは、多くのひとが集い、それぞれがそれぞれの思いを持ちながらも薬物依存という問題を通じ、時間を共有できて本当によかったと思えました。

私自身は、相談員という仕事を長く続ける中で、アディクション問題に出会いました。初めは、病院のケースワーカーとして、そしてその後、横浜女性フォーラム（現男女共同参画センター横浜）総合相談の相談員として、そして今名古屋市男女平等参画推進センター（愛称“つながれっと NAGOYA”）の相談担当として。特に、横浜女性フォーラム相談室では、当初から当事者主体の自助グループとご縁をつくってきました。最初はNAやAKKからだったように記憶しています。女性センター相談室にそぐわない風貌(?)の男性たちもあの頃よく相談室に入入りしていましたね。

私自身も女性センター相談室と自助グループが協力・連携することに大きな意義を見い出してきました。理由は、2つあります。

1つは、当事者性です。女性センターの相談ではとりわけ相談者の主体性を大切に、その人がどうしたいのかを尊重し、ともに歩む努力をします。それは、自助グループが培ってきた“体験的知識”に学ぶところが大きいのではないかと感じています。

もう1つは、相談者、相談員という相談形態のみに終始するだけでなく、同じ悩みを持つひと同士がつながること、そしてそこから生まれるものによって自立や成長の力が見えてくるという期待があり、自助グループと連携していくことで支援の内容がより豊かになると思うからです。

つながれっと NAGOYA は、3年余り前に開設されたまだまだ新しいセンターです。

相談室では、日々女性が直面するさまざまな問題についての相談を受けていますが、中でも多いのは、夫婦関係や離婚問題、そしてDVの相談です。DVやセクハラなど女性に対する暴力の問題は、センターの取り組む課題の1つでもあります。相談室は、6人のスタッフで、電話や面接の相談、相談から見えるニーズをテーマとした法律やからだのセミナーなどを行っています。3年たつて18年度の新しい試みとして、女性のためのサポートグループ事業を実施しました。

どんな内容にするか考えたとき、2つのことを柱にしました。1つは、暴力や虐待など心にダメージを受けた女性で、現実的な問題が落ち着いてきたが、生きにくさや辛さがあるひとを対象にしたものを行いたいということ。そしてもう1つは、自助ミーティングの力を取り入れてみたいということでした。グループの場を安全に、しかも安心感を持って話したいことが話せること。しかし、これは初めてのメンバーにとっては何をどのように話したらいいのか、なかなか見当がつかないことでしょう。

そこで、香さんにご相談したところ、快くファシリテーターを引き受けてくださいました。初めての試みで毎回、香さんと担当相談スタッフとで、振り返りをしながら進めました。とりわけミーティングルールと会の目的を大事にしました。

サポートグループの中で、香さんは自然体で、ご自身の経験を語りました。「自分のことを安全に話す」ということは、案外難しいことです。でも、香さんがNAグループやダルクミーティングでどのように話し、そして何を感じ、何を考えたかを率直に語ってくださったことが、少しずつ参加メンバーの気持ちを楽にしていっていったと思います。1人1人の経験の違いと共通点。1人1人ペースも違うし、そこで感じることも違うけれど、でも、1人1人の話を大切に聴く中で、グループは進化していきました。5回で終了したあと現在も引き続き相談員とともにグループは継続しています。山や谷はあるでしょうが、女性のためのサポートグループ事業は、摸索しつつ来年度も出来たらと思っています。

女性の生きにくさやダメージは、複合していることが多く、心だけでなく、からだも、生活も一体として「1人の女性」丸ごとなのです。キーワードは、「女性」と「ジェンダー（社会文化的な性）」です。相談にみえる多くの女性が、実はそのひとりの自分に気づき、一步一步自分自身を生き始めるとき、その“時”を共有する相談員とともに“力”を共有していると思います。

今年もなんやかやとまたいろいろありそうな年ですが、どうぞよろしく願いいたします。そして、みなさまそれぞれに、よい1年となりますように。



# 新コーナー ダルクQ&A!!

## ◇ ダルクとは

薬物（シンナー・覚せい剤・睡眠薬・風邪薬・アルコールなど）をやめたくてもやめられない人が集まる民間の薬物依存症リハビリ施設です。スタッフは薬物依存症からの回復者です。仲間と共にミーティングを中心としたプログラムを実践して、薬物を使わずに生きることを学びます。同じ悩み（病気）を持つ仲間とフェロウシップの中で回復するために、場所の提供をし、12ステップによる今までとは違う生き方をする練習の場でもあります。

## ◇ ダルクの名前の由来

ダルク(DARC)とは、ドラッグ(DRUG=薬物)のD、アディクション(ADDICTION=嗜癖、病的依存)のA、リハビリテーション(REHABILITATION=回復)のR、センター(CENTER=施設、建物)のCを組み合わせた造語です。

## ◇ ダルクはいつできたの？

東京で21年前に設立されたのがはじまりで、回復者がそれぞれの地域でかつ動を広めて行きました。現在全国41箇所まで広がっています。に設立されました。岐阜ダルクは37箇所目のダルクとして平成16年10月1日に開設しました。組織ではありません。連携を取りながらもそれぞれのダルクが独立して活動しています。

## ◇ 岐阜ダルクの一日の生活では何をしているの？

9:40~10:00 施設内掃除  
10:00~11:00 ダルクミーティング  
11:00~13:30 昼食 自由時間  
13:30~15:00 運動プログラム  
15:00~17:00 自由時間  
17:00~19:00 夕食 移動時間  
19:00~20:30 NAミーティング



## ◇ 薬物依存症とは？

薬物（合法、非合法問わず）を、必要以上の量、本来の目的を離れて使用することを『薬物乱用』といいます。乱用される薬物の多くには共通の特徴があります。それは、摂取した人に何らかの満足感や快感を与え、再び摂取したいという欲求を起こさせる作用です。

薬による快感の体験から、もう一度同じ快感を求めて再使用してしまうことが乱用の始まりです。繰り返し使うことによって体内に耐性が形成され、使用量、使用回数が共に増え、深みに陥っていきます。このように精神的にも身体的にも薬物に依存した状態を『薬物依存』といいます。この時点ですでに、薬が切れるといってもたってもいられない強い欲求が起こり、禁断症状が現れます。薬の奴隷と化し、人格も身体もむしばまれた『薬物依存症』となってしまうのです。

## ◇ 薬物ってどんなものがあるの？

シンナー・大麻・覚醒剤・睡眠薬・精神安定剤・風邪薬・咳止め・鎮痛剤・ガス・アルコール・タバコ など。

## ◇ 薬物依存症になるとどうなるの？

昼夜逆転し、仕事や学校に行くなどの規則正しい生活ができなくなります。使用している本人が困るよりも、まわりの人々(家族等)に影響が始めます。依存が進行すると、幻覚・幻聴、被害妄想等が現れ始めます。薬を手に入れるために万引きをしたり、身近な所から薬代を何とかしようとします。



一品持ち寄りでのクリスマス会  
手品あり、楽しいひとときでした

鳥取・磐梯ダルクの仲間と  
ミーティングをしました

## 1月 活動報告

### ● 活動報告 (予定)

9. 10 豆の木ネット宿泊研修(国立オリンピック記念青少年センター)  
 4. 15. 29 各務原病院薬物ミーティング  
 6 慈恵中央病院NAミーティング  
 12. 26 笠松刑務所メッセージ  
 13 フリーマーケット  
 薬物依存症支援「たんぼの会」  
 18. 19 名古屋ダルク合同フェローシップ (火の谷温泉)  
 22. 24 和歌山刑務所メッセージ

### ◇ お知らせ

特定非営利活動法人 チャイルドラインぎふ主催

連続公開講座「親や地域は子どもの悩み聴き上手になろう」事業

2007年4月15日(日) 13:30~15:00 瑞穂市総合センター

「薬物と依存症」にて講演

入場料 500円 お問い合わせ: NPO法人チャイルドラインぎふ事務局 058-382-6050

## 鞆鮎サポーターズ事務局からのお知らせ

### 鞆鮎サポーターズ 会員大募集!!

岐阜ダルクを支援する鞆鮎サポーターズの発足です。

皆様のアイデアで一緒に出来る支援を考え、楽しみませんか?

サポーターの貴方にできること

岐阜ダルクに会鞆鮎つうしんの年間購読

鞆鮎つうしんの発送・配布等のお手伝い

鞆鮎つうしんを貴方の職場・お店・学校に置かせてくれること

バザーのお手伝い ダルクの活動の橋渡し etc

サポーターズの皆さんとの交流会(バーベキューなど)・勉強会も企画予定中。

どうかお気軽にご入会・お問い合わせ下さい。

同封の郵便局の振替用紙の通信欄に「鞆鮎サポーターズ OO会員になります」

とお書きの上、下記年会費をお振込み下さい。

会費: 濃姫会員 年間 30,000 信長会員 年間 20,000

道三会員 年間 10,000 うあゆっこ会員 年間 3,000

## 献金者名

★ 12月16日~1月15日受付分 (敬称略・順不同)

たくさんの皆様より献金・献品をいただきまして、有難うございます。

引き続き、皆様の心温まる、ご支援を心からお願い申し上げます。

梶川清一 日本キリスト教会那加教会 日本キリスト教会岐阜加納教会  
 日本キリスト教会関教会・西堀剛男牧師 アガベチャーチ土岐チャペル 村中和代  
 西野敏夫 沢口二三子 青井初恵 堀田陸朗 岡村晴美 土田弘子 上田千津子  
 岡田喜美江 カトリック膳棚教会 ビア岐阜 丹羽玲子 大須賀すみ 田中修  
 千田正子 長瀬光一 北谷雅春 聖パウロ女子修道会 高瀬つや子 福安一幸  
 カトリック東山教会 一宮聖光教会 河合良房 オクワ愛徳修道会 伊佐治金剛  
 池田ひろみ 曾我直子 浅野登代子 日本キリスト教会郡上八幡教会 大原里美  
 渡辺雅子 成井尋江 西村由美子 永井照子 田中世津子 養南病院 一宮聖光教会  
 カトリック一宮教会 カトリック高蔵寺教会 カトリック瑞浪教会 各務原教会・宗像亮二  
 クラレチアン宣教会・ハイミスネロス神父 岐阜県保護司会連合会・鷺見俊邦

## 献品者名

しい

皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

お振込みの際に、匿名を希望される方は、恐れ入りますが、その旨を振込用紙にご記入下さい。なお恐縮ながら、発送作業簡略化のために、すべての皆様に振替用紙を同封させていただきますこと御了承下さい。



1月13日(土)

可児市のビッグリブスーパーマーケット駐車場で今年最初のフリーマーケット。

皆様からいただいた新品のタオルや洗剤などの日用品が一番売れます。

古着や陶器はなかなか売れず・・・持ち運びが大変なので一番に売ればと思いましたがなかなか売れずといったところです。

この日の売り上げは¥16,248でした。

活動資金の足しにさせていただきます。

献品のご協力をありがとうございました。

引き続き献品のご協力をお願いいたします。

## 献金のお願い

岐阜ダルクの活動は皆様の心あたたまるご支援によって支えられています。活動資金が足りません。どうか寄付のご協力を心からお願い申し上げます。

郵便振替口座 00840-5-167752 加入者名 岐阜ダルク後援会

銀行振替口座 十六銀行 問屋町支店 普通 1261434

加入者名 岐阜ダルク 代表 遠山 香

### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

皆様の今年の夢や目標はなんですか？ 私の夢は本当の自分になるために、過去の私を手放すこと。人生におこったこと、わだかまっていること、過去の痛み、すべてを受け入れることによって、きっと輝く私がと思っています。そして、今までの私を赦すことによって新しい私の人生と物語、出逢いがあるのだと信じています。今までにおこったこと、これからおこること、すべてが神様と自分の決めた計画だと信じて。

毎日を感謝の「ありがとう」の気持ちで穏やかにと努力を始めました。

それから、仲間が良くなることだけを考えて、自分にできることにベストを尽くす。あきらめず、でも期待せず、希望は忘れずに色々な人の違いを受け入れていけるようになりたいものですね。

今年もたくさんの仲間や人々と出会えますように。一人でも多くの人にメッセージが届けられますように。今年が皆様にとって良い年になりますようお祈り申し上げます。



☆☆☆ (黒猫じじ)

雑誌つうしん 新年号 (No.7)

★編集 岐阜ダルク

〒500-8175 岐阜市長住町 7-3 TEL/FAX: 058-251-6922

Email: gifudarc2004@yahoo.co.jp

郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

銀行振替口座 十六銀行 問屋町支店 普通 1261434 岐阜ダルク 代表 遠山 香

★ 定価 一部・200円 ★ 編集責任者 遠山 香

★ 発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会

名古屋市中区丸の内 3-6-43 みこころセンター